

授業科目名	経済学	担当教員	黒木祥弘
選択	開講年次：1年前期	単位：1単位	授業形態：講義 15時間

【授業概要】

ミクロ経済学とマクロ経済学の2つに分けて経済学を学ぶ。ミクロ経済学では、需要・供給と価格の関係、企業や個人の行動と価格形成について学ぶ。マクロ経済学においては、GDP（国内総生産）、個人消費、投資、政府支出などのマクロ経済変数、マクロ経済の動向を学ぶ。

【授業目的・目標】

1. 世間の俗説に惑わされず、自己の目で経済現象を見つめる能力を身に付ける。
2. ミクロとマクロ経済学と医療制度の関係について学ぶ。
3. 医療システムをミクロ経済学の原理を応用して分析する。
4. 景気の動きを規定する基本的なメカニズムと財政金融政策の機能その他の経済問題について議論する。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] An overview — 経済学の目的とこの授業の意義 —
- [02] ダイヤモンドはなぜ高い？（その①）— 独占と競争 —
- [03] ダイヤモンドはなぜ高い？（その②）— 情報格差で市場が機能低下・失敗 —
- [04] 一人で頑張る？それとも協力する？ — 協力と良い評判 —
- [05] 国の経済状態はどう測る？— 国内総生産（GDP）、総需要そして『幸福度』—
- [06] 景気を良くする方法ってある？— 財政出動（公共投資、減税）と金融政策 —
- [07] 経済が成長することって、必要？— 教育や基礎研究も大事です —
- [08] 消費税増税はなぜ必要？— 格差・不平等・貧困 —

【教科書】

教科書は使用しない。パワーポイントのスライドのコピーを授業中に配布する。

【参考書】

参考書は、学生からの要望に応じて指示する。

【評価方法・評価基準】

期末試験により評価する。論述問題を1～2題出題する（合計100点。）60点以上を合格とする。

【講義のために必要な事前・事後学習】

授業中メモを取り、良く復習すること。

【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ、教養教育で培う普遍的基礎能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

期末試験については、希望者に対し採点基準や模範的な解答を提示する。

【備考】